

○ 幅広い分野での「ひまわり」の活用推進

- ✓ 「みんなのひまわり」の構想について
 - ひまわりをさらに広い分野で活用していく取り組み
- ✓ 社会の動きや要請を踏まえているか
 - カーボンニュートラル、SDGs、気候変動、デジタル化 など
- ✓ 活用が期待される分野は他にないか
 - 他分野との結合による価値創出
 - ひまわり後継機での機能向上による新たな活用
 - ひまわりを活用した研究コミュニティの拡大
 - 陸海空の交通安全
 - RGBカラー合成画像の新分野での更なる活用拡大

今後のスケジュール

- 引き続き、関係機関のニーズや防災への効果を踏まえて仕様を精査し、後継衛星整備に必要な所要の手続きを進めていく。
- 令和5年度製造開始、令和10年度打ち上げ、令和11年度運用開始を目指し、具体的な作業を進めていく。

年度	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6～9年度 (2024～2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)	令和12年度以降
後継機	後継機の検討			第4回懇談会 (2021/8/26)	後継機の製造			▲ 打ち上げ	後継機の運用・利用

- 次回以降の会合で想定する議題

データ利活用について

例) データ利活用にかかる産学官連携を推進するための方策

運用事業の実施方法

例) 民間が収益のアイデアを提案できるPFI事業実施の具体的方法